

平成25年度 公益財団法人静岡県文化財団事業計画

I 基本方針

平成25年度は、第3期（平成24～28年度）グランシップ指定管理業務の2年目であるとともに、公益財団法人へ移行する年であり、平成26年度に実施される大規模修繕に伴う全館休館の前年であるため、重要な一年となる。

当財団は、これまで地域に根差した個性豊かな県民文化を振興し、県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに寄与するため、ふじのくに文化振興基本計画における財団の役割を踏まえ、県内文化活動の一層の支援や文化団体のネットワークづくり、コンベンション開催等による県内外との交流等、財団が設立当初から実施してきた固有事業と指定管理業務であるグランシップを中核とした各種文化振興事業を推進してきた。

国において、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が平成24年6月に施行され、指針が定められようとしているところでもあり、その趣旨をふまえ、県の文化政策の一翼を担っている財団及び県文化政策の実施の場であるグランシップは、県の文化政策における中核組織・施設としての役割を果たすことが必要となる。

なお、グランシップの第3期指定管理期間においては、「上質で多彩、そしてより身近に」「運営の効率化推進と信頼される施設づくり」「安全・安心・快適」「地域連携の強化」の4点を総合的な基本方針として、文化振興及びコンベンション振興の両立を目指し、文化財団にしかできない特色ある運営を行う。

また、公益財団法人への移行に伴い、当財団の組織・財政基盤を強化し、人材育成を行っていく。

1 法人運営

(1) 人材の育成、組織の専門性の強化

文化振興を行う法人として、職員のアートマネジメント能力、情報収集発信能力等を一層高め、財団の事業企画・実施、運営力等を強化する。

(2) 新たな人事制度の構築

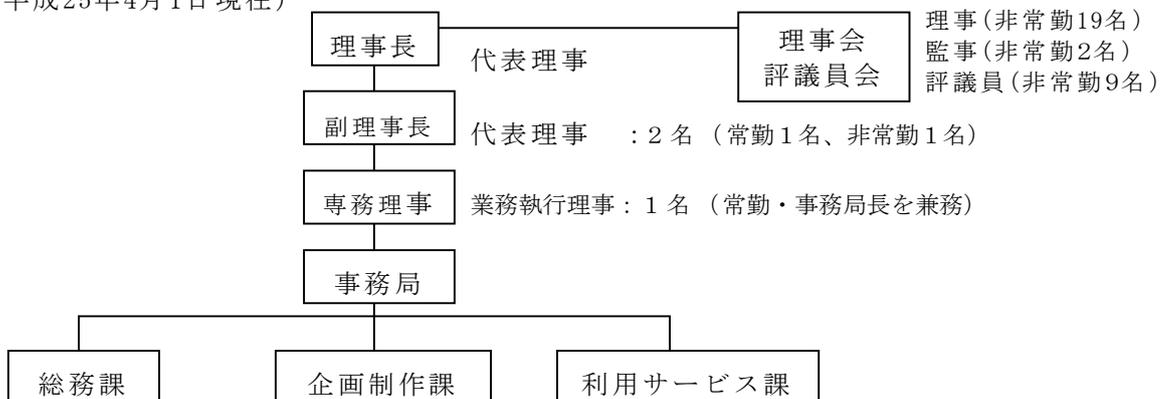
当財団のミッションである静岡県の文化振興について、各職員が意欲を持って取り組めるような勤務・給与体系、人事評価制度の導入など新たな人事制度を構築する。

(3) 収支の改善

引き続き厳しい財政状況が見込まれる中、公益財団法人として、適正な予算執行により安定した経営基盤の確立に努める。

○組織体制（予定）

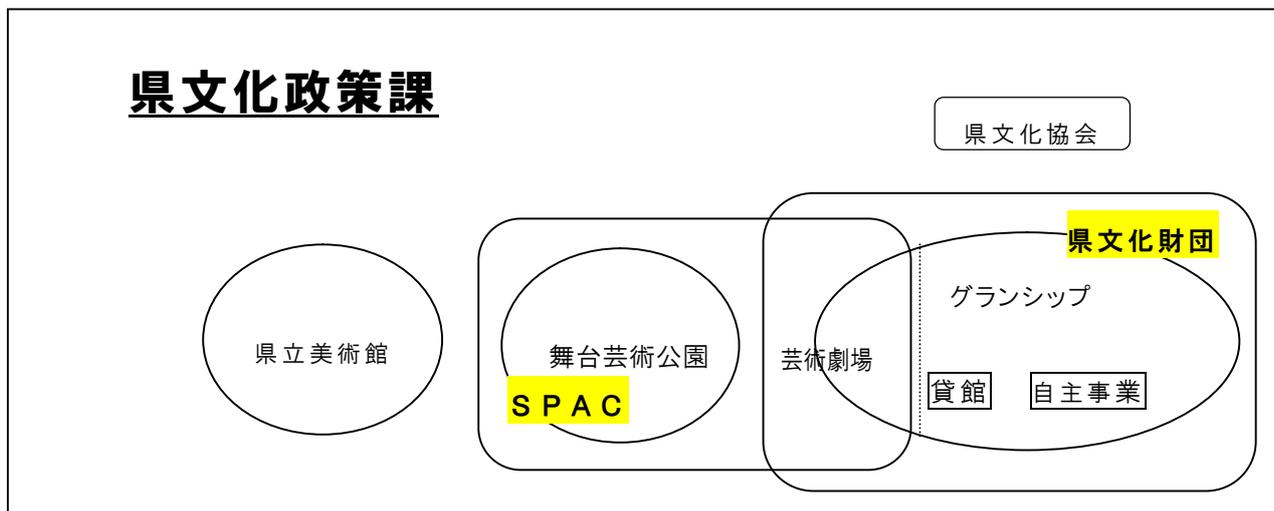
（平成25年4月1日現在）



○ 財団事業一覧

公益目的事業			収益目的事業	その他	法人会計
1 文化・芸術の振興事業					
項目	グランシップ自主事業	固有事業			
みる	・はじめての劇場 ・開かれた劇場	・中高生芸術鑑賞支援事業	—	3 友の会事業	—
つくる	・つながる劇場 ・文化支援としての効果的な「情報」の活用 ・催事情報提供事業	・「しずおか文化新書」発行事業 ・地域文化活動団体顕彰事業	—	—	—
ささえる	・文化支援としての「人」を育てる環境づくり ・文化支援としてのささえる「ネットワーク」づくり	・ふじのくに文化芸術振興助成	—	—	—
2 グランシップ管理運営事業					
貸館事業(公益)			貸館事業(収益)		
貸館業務管理(施設貸出業務)			駐車場管理・運営事業	—	—
営業活動					
広報・宣伝事業			—	—	—
施設の管理・運営	維持管理	施設・設備等	自動販売機等管理事業	—	—
		館内外装飾			
		リスクマネジメント(危機管理)			
	公立文化施設等との連携				
サポート組織運営			—	—	—
文化財団法人運営					
—			—	—	法人運営

○ 文化財団の静岡県における立ち位置



※県の文化関係機関：県立中央図書館、埋蔵文化財センター

1 文化・芸術の振興事業

第2期ふじのくに文化振興基本計画を踏まえて、指定管理者として当財団が管理運営を担当している県内唯一の県立複合文化施設である静岡県コンベンションアーツセンター グランシップを拠点に静岡県の文化・芸術の振興を図る。

実施に際しては、同計画の施策展開の方向として位置付けられている「みる」、「つくる」、「ささえる」を3本柱として、文化活動の主役は県民であり、地域文化の振興を担っていくものは一義的には地域住民や基礎自治体である市町等であるとの観点に立ち、「補完性」、「広域性」、「先駆性」に留意するとともに、県内の文化団体や文化施設、教育機関と密接な連携を図り、効率的かつ効果的な実施を図る。

(1) 「みる」

事業費（資金収支ベース）：171,510千円

家族で、特に子どものときから上質で多彩な文化・芸術に触れる機会を作り出すため、グランシップを拠点にして、積極的に県内各地の学校等にも出向き、鑑賞や体験の機会等を設ける。

また、子ども・学生料金の原則1,000円（有料展示でも高校生以下は無料）を引き続き設定する。なお、中高生が学校経由で鑑賞する場合、子ども・学生料金をさらに値引き、800円とするとともに、遠隔地の中高生には交通費の支援など、中高生を中心に学生・子どもが鑑賞しやすい環境づくりに取り組む。

ア グランシップ自主事業—はじめての劇場

（事業費：119,830千円）

文化・芸術にはじめて触れる場としてのグランシップでは、「上質で、多彩なもの」をそして県内ではあまり鑑賞することのできない公演、展示等を実施する。

主なものとしては、次のとおりである。

◎現代舞台芸術

事業名	月日	会場	内容
新国立劇場バレエ団 ペンギンカフェ/シンフォニー・イン・C	5/8	中ホール	大人も子どもも楽しめる舞踊作品、振付はデヴィッド・ピントレーとジョージ・バラシン
グランシップ 世界こども劇場	7/28 8/2, 3, 5, 6	中ホール他	グランシップ恒例となった世界の劇団による児童演劇祭
ジョン・ミヨン指揮 フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団	10/4	中ホール	ストラヴィンスキーの火の鳥、ベルリオーズの幻想交響曲ほか
ウラディミール・ミニン指揮 国立モスクワ合唱団	10/12	中ホール	県内初、外来混声合唱団による公演、ロシア民謡ほか

◎伝統芸能

事業名	月日	会場	内容
人形浄瑠璃 文楽	10/13	中ホール	グランシップ 恒例の伝統芸能公演
グランシップ静岡能	1/26		

◎地域文化

事業名	月日	会場	内容
Wonderful アート	9/14-29	展示ギャラリー他	一人ひとりが持っている表現のすばらしさの理解を深め、楽しむ展示他
2013しずおか連詩の会	11/24	会議ホール	大岡信監修、5人の詩人による40編の連詩の創作、発表
【文化・劇場が持つカラシリーズ】写真展他	3/8-30	展示ギャラリー他	「文化と復興」をテーマに写真展やコンサート等を開催

◎賑わい創出

事業名	月日	会場	内容
グランシップ こどものくに	5/3-6	展示ギャラリー、交流ホール他	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント テーマは「粘土」
グランシップ トレインフェスタ2013	5/18-19	全館	日本最大級の鉄道模型イベント

イ グランシップ自主事業－開かれた劇場

(事業費：51,180千円)

文化・芸術に関心があるけれど、内容等がよくわからないと感じている人たちを中心に入門講座やワークショップ等を開催するとともに、積極的に県内各地の学校等に出向き、子どもたちを中心に文化・芸術の魅力を伝えるとともに創造力、表現力を育むワークショップやミニ公演等を実施する。

主なものとしては、次のとおりである。

◎現代舞台芸術

事業名	月日	会場	内容
中学生のための音楽会	12/17, 18	中ホール	中学生が本格的なクラシックコンサートを体験
【学校プログラム】 演劇ワークショップ	5, 7月	2校	演劇の楽しさを伝えるワークショップ

◎伝統芸能

事業名	月日	会場	内容
国立劇場歌舞伎鑑賞教室	6/26	中ホール	質の高い伝統芸能に触れる入門公演
能楽入門公演	9/16	中ホール	
【学校プログラム】 国本武春浪曲出前公演	9-11月	沼津市・愛鷹小他2校	名人芸を間近で鑑賞でき、浪曲の魅力を伝える公演
伝統芸能普及プログラム	未定	未定	文化施設での能楽ワークショップ、学校公演、大学出張講座等

◎地域文化

事業名	月日	会場	内容
「しずおかの文化」講演会・体感ツアー	6-3月	各4回	「しずおかの文化」新書と連動した地域の文化の掘起こし
【学校プログラム】 連詩をつくらうワークショップ	9-11月	東伊豆町・熱川小他2校	詩の創作と連詩の楽しさを伝えるワークショップ

ウ 中高生芸術鑑賞支援事業

(事業費：500千円)

静岡県内の中高生が県内の公立文化施設で芸術文化を鑑賞する場合、交通費負担の軽減を図るため、交通費の一部を支援する。

項目	内容
支援対象	県内の中高生で、当財団指定の文化芸術を鑑賞した者 ・当面、グランシップ主催公演で、グランシップから直線距離で10kmを超える場合のみ対象 ・申請者は、支援対象者が所属する学校長
支援額	一人当たり2,000円を上限として、現に要した交通費の1/2以内

(2) 「つくる」

事業費(資金収支ベース)：68,069千円

県民の文化・芸術活動の促進するため、文化活動をしようとする人やすでにしている人に対して、グランシップで発表する場を設けるとともに活動に必要な情報を集約し、提供する。また、新たな地域文化の創造を進めるため、優れた活動をしている文化団体を顕彰する。

ア グランシップ自主事業—つながる劇場

(事業費：31,754千円)

文化活動をしている人たちがコンサート等に参加できる機会や相当程度活動していて、さらなる飛躍を目指す文化団体に対して、提供の場を確保する提携公演も引き続き取り組む。

主なものとしては、次のとおりである。

◎現代舞台芸術

事業名	月日	会場	内容
グランシップ 音楽の広場	8/4	大ホール	本県ゆかりの演奏家300人による大オーケストラ等県民参加型で、家族で気軽に楽しめるクラシックコンサート
グランシップビッグバンド ・ジャズフェスティバル	8/18	大ホール	県内アマチュアビッグバンドによるジャズフェスティバル
提携公演	12/8 12/23 3/2	中ホール 大ホール 中ホール	県内芸術団体への発表の場の提供

イ グランシップ自主事業—文化支援としての効果的な「情報」の活用

(事業費：5,000千円)

文化団体、会場、助成、人材募集等の文化関連情報が集積、公開している静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」を引き続き管理運営するとともに、さらに利用される環境づくりに取り組む。

なお、大規模改修後の平成27年度開設を目指して、「文化情報センター」の準備を進める。

ウ グランシップ自主事業－催事情報提供事業

(事業費：22,000千円)

グランシップで開催する各種催事情報、施設利用促進のためのPRや県内の文化情報の提供に取り組む。

なお、大規模改修後の平成27年度に向けて、「ON BOARD」、「G. [ジー]」の統合等も含めて、情報提供の在り方の検討を始める。

項 目	内 容
各種公演のチケット販売	グランシップ主催事業等のチケットを販売
グランシップイベントカレンダーの発行（隔月発行/52,500部）	グランシップ主催事業や県内の文化施設等の催事情報を提供する「ON BOARD」を発行
グランシップマガジン「G. [ジー]」の発行（年4回/20,000部）	グランシップの自主企画事業や施設等について紹介する総合情報誌「G. [ジー]」の発行
情報ラウンジ等における催事情報の提供	グランシップ自主企画事業や、県内文化施設の催事情報を収集し、情報ラウンジ等で紹介

エ 「しずおかの文化新書」発行事業

(事業費：8,565千円)

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、県民の共有財産として、後世に伝えていくために、静岡県内の文化にまつわる様々な事柄を1つのテーマとして取り上げ、「しずおかの文化」新書を編集・発行する。

なお、グランシップ自主企画事業として、本事業と連携した「しずおかの文化」講演会（4回）、体感ツアー（4回）を実施する。

項 目	内 容
発行回数	4冊/年
部数	3,000部発行（うち無償800部：図書館、大学、高校等）
規格	新書判、200頁程度/冊
テーマ	企画編集委員会（委員6名）において決定
販売価格	500円/冊、県内書店及びWEBサイト等で販売

オ 地域文化活動団体顕彰事業

(事業費：750千円)

ふるさとの伝統を礎に、新たな地域文化の創造を目指し、県内各地で多彩で優れた文化活動を展開している団体を公募し、顕彰する。なお、グランシップ文化支援事業として、表彰の際に、新たに文化関係団体が研鑽、交流する場を設ける。

項 目	内 容
募 集 期 間	平成25年8月～9月
対 象	地域文化を育て、文化の香り高い郷土づくりに貢献している静岡県内に活動の本拠を置く文化団体
選 考 ・ 発 表	当財団の「地域文化活動賞選考委員会」において選考し、受賞団体を公表（平成25年12月）
表 彰	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域文化活動賞 1件 賞金10万円、盾、賞状 ・ 地域文化活動奨励賞 若干 盾、賞状

(3) 「ささえる」

事業費（資金収支ベース）：12,000千円

文化・芸術活動を促進するため、その活動を支える人材を育成するとともに活動している団体や個人が交流する場を設け、さらに活動等に対して資金的な支援にも取り組む。

ア グランシップ自主事業－文化支援としての「人」を育てる環境づくり

(事業費：2,410千円)

県の中核施設として、県内の公立文化ホール（文化政策を担う）スタッフの資質向上や交流を促進するため、セミナーやインターシップを実施する。なお文化ボランティアの育成につながるグランシップサポーター制度も引続き導入する。

項目	アートマネジメントセミナー	インターンシップ
対象	県内の公立文化施設職員	大学生
目的	職員のアートマネジメント能力の向上と公立文化施設間の連携を進める	座学と実習(グランシップの公演)を組み合わせたインターンシップ
期間	平成25年6月頃～26年3月計10回程度	平成25年6月頃～10月
募集人員等	10人程度	4コース程度

イ グランシップ自主事業－文化支援としてのささえる「ネットワーク」づくり

(事業費：2,290千円)

地域文化活動賞の表彰式と連動した記念フォーラムを開催する。

これは、大規模改修後の平成26年度から開催予定の、県内の文化団体やアートNPOが一堂に会して、セミナー、相談コーナー、交流会等に参加することで、運営に必要なノウハウや知識、ネットワークを取得できるアート・サポート・フォーラム（仮称）のプレ開催として、企画するものである。

項目	内容
月 日	平成26年 3 月
会 場	グランシップ 会議ホール・風
概 要	講演、事例紹介、トークセッション、交流会他

ウ ふじのくに文化芸術振興助成

(事業費：7,300千円)

県民の多彩な文化活動や、その文化活動を「ささえる」活動の活性化を促し、また地域において文化を育む拠点を形成し、しずおかの文化芸術の発展に寄与するため、文化団体等へ支援する。

項目	内 容			
メニュー	文化交流・発信事業	公立文化施設の連携・交流事業	「ささえる」活動団体の自立に向けた活動	しずおかの文化芸術団体のステップアップ活動
補助対象事業・活動	①国際文化交流事業 ②広域的芸術文化事業 ③住民参加型自主企画事業	二以上の県内公立文化施設が連携し実施する文化事業で、各館の企画力の向上、連携・交流に寄与する事業	「ささえる」活動を主たる目的としている団体の組織の自立に繋がる投資的な活動	舞台芸術をはじめとする文化活動の分野において、静岡県を代表する文化芸術団体の育成に繋がる投資的な活動
補助対象者	個人又は団体	公立文化施設の設置者、運営者	「ささえる」活動団体	文化活動団体
補助期間	単年度	単年度	複数年度(原則3年、5年が限度)	複数年度(原則3年、5年が限度)
補助額	10万円から50万円(自己負担額1/2以内)	10万円から100万円(自己負担額以内)	10万円から50万円翌年度以降逡減	10万円から50万円翌年度以降逡減
募 集	年1回	年1回	年1回	年1回
審査方法	書類審査	書類審査	外部審査員も含めた書類及び対面審査	外部審査員も含めた書類及び対面審査

(4) グランシップ自主事業(指定管理事業) 事業費(資金収支ベース) : 296,804千円(再掲)

上記の(1)から(3)において、県の施策体系に沿って分割して一部触れた指定管理業務であるグランシップ自主事業を改めてここで全体として説明する。

県民の文化創造発信拠点であるグランシップにおいて、「上質で多彩、そしてより身近に」を基本として、質の高い公演の招聘や、自ら企画制作する自主企画事業、催事情報提供事業を実施する。

また、「ふじのくに文化振興基本計画」に基づく積極的な文化支援については、グランシップを拠点とし、中間支援組織としてのセンター機能は発揮すべく、より一層、多面的な取組みを推進する。

なお、企画運営体制の強化を図るため、外部専門家によるアドバイザー制度を新たに設けるとともに、県民のニーズを把握するため、引続きモニター制度と来場者アンケートを実施し、企画・運営に反映する。

ア 自主企画事業

(事業費 : 274,804千円)

グランシップの催事なら『確か、安心、本物』という信頼感と『グランシップへ行けば何かがある』という期待感を集める文化拠点を目指す。具体的には、多目的な複合施設の特性を生かし、「現代舞台芸術」、「伝統芸能」、「地域文化」のジャンルを中心にこれまでのリソースとネットワーク、そして専門人材を活かして次に掲げる4つの柱に基づき、事業を展開する。

特に子どものうちからはじめて本物の芸術・文化に触れる機能の充実を図る。

項 目	事業本数	入場参加者数(人)
はじめての劇場—上質な芸術、文化に初めて触れる場づくり	24本	91,050
開かれた劇場 —開かれた文化環境づくり	36本	21,450
つながる劇場 —文化活動・交流の場づくり	6本	12,000
文化支援 —中間支援組織のセンター機能の推進	3項目	500
合 計	69本・項目	125,000

1 はじめての劇場

○中高生招待対象公演、★中高生鑑賞対象公演、☆学生・子ども(1,000円)設定公演

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要
現代舞台芸術					
1 落語×JAZZ ～昇太さんとブルスカイさん～	○★ ☆	4/21 (日)	15:00 中ホール	700	静岡県出身の落語家春風亭昇太と奥田“スインギー”英人&ザ・ブルスカイオーケストラによる、落語とジャズのコラボレーション
2 新国立劇場バレエ団 ペンギン・カフェ/シンフォニー・イン・C	○★ ☆	5/8 (水)	19:00 中ホール	700	新国立劇場バレエ団による大人も子どもも楽しめる舞踊作品 振付:テウイット・ビントレー/ジョージ・バランシン
3 ヨーラン・モンソン 北欧の小さな音楽会	○★ ☆	6/13 (木)	19:00 交流ホール	250	スウェーデンの笛演奏家ヨーラン・モンソンによる北欧音楽の公演 出演:ヨーラン・モンソン(笛) 他
4 世界の子ども劇場(国内公演) 『ジュリアス・シーザー』	○★ ☆	7/28 (日)	14:00 中ホール	550	世界子ども劇場の日本作品として、家族で楽しめるシェイクスピア劇『ジュリアス・シーザー』を上演
5 世界の子ども劇場 (海外招聘公演)		8/2.3.5.6 (金土月火)	10:00 中、交流	1,500	デンマーク、イスラエル、ドイツ、ロシアから劇団を集めての児童演劇祭
6 チョン・ミョンフン指揮 フランス国立 放送フィルハーモニー管弦楽団	★☆	10/4 (金)	19:00 中ホール	800	音楽監督・指揮:チョン・ミョンフン、演目:ストラヴィンスキー/組曲「火の鳥」 (1919年版)、ラヴェル/ラヴァルス、ベルリオーズ/幻想交響曲
7 ウラディミール・ミンニン指揮 国立モスクワ合唱団	○★ ☆	10/12 (土)	14:00 中ホール	700	芸術監督:ウラディミール・ミンニン 演目:ロシア民謡、オペラの合唱曲等
8 馬頭琴公演		11月	未定 交流ホール	250	モンゴルの馬頭琴を使った公演
9 スロカー・トロンボーン四重奏団	★☆	11/30 (土)	17:00 中ホール	750	スロカー・トロンボーン四重奏団による日本最後のツアー公演 出演:プラニミール・スロカー、ヴァシル・クリストフ 他
10 グランシップ プレミアム・クリスマス・ ジャズライブ	○★ ☆	12/15 (日)	16:00 交流ホール	250	観客300人の空間で演奏を間近に楽しめるジャズ公演、出演:五十嵐明要(A.Sax)、杉原淳(T.Sax)、原田忠幸(B.Sax) 他
伝統芸能					
11 グランシップ寄席①	○☆	8/24or25 (土or日)	未定 中ホール	650	季節や他の催事と連携したテーマ設定による、話芸を中心とした寄席
12 【伝統芸能シリーズ】 人形浄瑠璃 文楽 (2公演)	○★ ☆	10/13 (日)	13:30,18:30 中ホール	1,350	文楽協会による人形浄瑠璃公演、演目:(昼の部)生写朝顔話、 (夜の部)花競四季寿より万歳・鶯娘、ひらがな盛衰記
13 【伝統芸能シリーズ】 グランシップ 静岡能	○★ ☆	1/26 (日)	14:00 中ホール	750	宝生流能楽師による能楽公演
14 【文化・劇場が持つカサリス】 邦楽公演		2or3月	未定 交流ホール	250	「文化と復興」をテーマにした邦楽公演
15 【文化・劇場が持つカサリス】 鎮魂能・東北の伝統芸能		3月	未定 中ホール	700	「文化と復興」をテーマにした鎮魂能・東北の伝統芸能公演
16 【文化・劇場が持つカサリス】 グランシップ寄席②	○☆	3/14or16 (金or日)	未定 交流ホール	250	「文化と復興」をテーマにした話芸を中心とした寄席
地域文化					
17 輝く静岡の先人展 「静岡から世界を変えた発 明王・発見王!」		8/1-18 (木-日)	10:00-17:00 展示ギャラリー	5,000	冊子「輝く静岡の先人」(県発行)に掲載されている先人のその業績を紹介し、関連する歴史、地域等を紹介する展示会
18 Wonderfulアート		9/14-29 (土-日)	10:00-17:00 展示ギャラリー他	5,200	一人ひとりが持っている表現のすばらしさの理解を深め、楽しむ展示 で、県内特別支援学校の生徒・児童による作品展示やNHKハート展 を開催
19 2013年 しずおか連詩の会	★	11/24 (日)	14:00 会議ホール	300	大岡信監修、5人の詩人が3日間で40編の連詩を創作・発表
20 連詩を見てみよう!		11/24-27 (日-水)	10:00-17:00 展示ギャラリー	2,000	「しずおか連詩の会」に関連して大岡信ことば館協力による連詩の 魅力を紹介する展示
21 【文化・劇場が持つカサリス】 写真展		3/8-30 (土-日)	10:00-17:00 展示ギャラリー	7,150	「文化と復興」をテーマに災害から人々が立ちあがっていく姿を捉えた 写真展
賑わい創出					
22 グランシップこどものくに		5/3-6 (金-月)	10:00-16:00 展示、交流他	12,000	ゴールデンウィーク期間中に、未就学児とその家族を対象とした無料体 験型イベント、「粘土」をテーマに様々な空間やワークショップを実施
23 グランシップ トレインフェスタ2013		5/18-19 (土-日)	10:00-17:00 全館	24,000	鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会など、鉄道ファンだけでなく家族で 楽しめる日本最大級の鉄道イベント
24 高松宮妃のおひなさま展		2/14-3/3 (金-月)	未定	25,000	静岡県が所有する高松宮妃ゆかりの雛人形・雛具を公開展示

2 開かれた劇場

○中高生招待対象公演、★中高生鑑賞対象公演、☆学生・子ども(1,000円)設定公演

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要
現代舞台芸術					
1		4/14 (日)	14:00 リハーサル室	40	新国立劇場バレエ団による初めてのハレエ・ワークショップ
2		5/4 (土・祝)	15:00 中ホール	300	親子3世代で歌い継ぎたい童謡・唱歌を楽しみ、鑑賞するファミリー参加型のワークショップ 講師:戸崎裕子、戸崎文葉
3		8/2.3.5.6 (金土月火)	リハーサル室	150	世界の子ども劇場 海外招聘団体による子ども向けワークショップ
4		8/17-18 (土-日)	リハーサル室	60	ザ・ブルースカイオーケストラのメンバーによるジャズクリニック、受講生は本番で「ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル」に出演する
5		8/17(本選) (土)	9:30 中ホール	1,450	県内の小、中、高校生を対象とした歴史ある音楽コンクール
6		8/24-25 (土-日)	10:00 リハーサル室他	70	音楽ワークショップのフロによるファンリテーター人材を育成するワークショップ 講師:マイク・スヘンサー
7		9/6 (金)	18:30 交流ホール	120	フランス国立フィルハーモニー管弦楽団演奏会に伴うプレ・レクチャー 講師:野平一郎
8		9/22or23 (日or月)	14:00 中ホール	450	一人ひとりが持っている表現のすばらしさの理解を深め、楽しむ子どもたちのダンスグループによる公演とワークショップ 出演:ラフジャンクス、県内ラフダンスチーム
9		12/17-18 (火-水)	10:30,13:30 中ホール	3,200	中学生が本格的なクラシックコンサートを体験、指揮:飯森範親、演奏:東京交響楽団、演目:モーツァルト/交響曲第9番、トヴェルガー/交響曲第9番「新世界より」
10	【学校プログラム】 スウェーデンの笛の魔術師、 ヨラン・モンソンがやってくる	6/6 (木)	御殿場市立 富士岡小、 御殿場南小	200	様々な笛の演奏を鑑賞することを通して、北欧の文化に触れる公演
11	【学校プログラム】 ピアニスト仲道郁代と遊ぶ 音楽による想像と創造	9-12月	浜松市立 光明小	30	音を絵や楽器の演奏で表現するワークショップ。講師:仲道郁代 ファシリテーター:「音楽家と指導者のためのワークショップ」受講生
12	【学校プログラム】 奥田"スインキ"-英人&ザ・ブルス カイオーケストラ 公開レッスン	未定	静岡雙葉高	100	奥田"スインキ"-英人氏によるジャズの公開レッスン
13	【学校プログラム】 演劇ワークショップ	5、7月	沼津市立西浦小、 焼津市立和田小	90	「子供のためのシェイクスピア」シリーズの俳優による演劇の楽しさを伝えるワークショップ。講師:子供のためのシェイクスピアカンパニー俳優
伝統芸能					
14	歌舞伎事前講座 山川静夫の ここがみどころききどころ	5/12 (日)	14:00 交流ホール	200	山川静夫と歌舞伎役者によるトークショー
15	【伝統芸能シリーズ】 国立劇場歌舞伎鑑賞教室(2公演)	★☆ 6/26 (水)	11:00,14:30 中ホール	1,400	国立劇場で人気の高い「歌舞伎鑑賞教室」事業の出張公演(2公演)、演目:「新歌舞伎十八番の内 紅葉狩」、出演:中村扇雀 他
16	文楽事前講座 山川静夫の ここがみどころききどころ	9月	未定 交流ホール	200	山川静夫と文楽公演出演者によるトークショー
17	【伝統芸能シリーズ】 グランシップ静岡能 能楽入門公演	○★ 9/16 (月・祝)	14:00 中ホール	1,200	小学生から大学生を対象とした謡・仕舞の稽古発表と初心者向け能楽公演 出演:観世流能楽師
18	【学校プログラム】 連詩をつくらう!ワークショップ	9-11月	東伊豆町立熱川小、 沼津市立大平小、静岡 市立清水飯田小	90	連詩の会参加詩人による、詩の創作と連詩の楽しさを伝えるワークショップ。講師:野村喜和夫(詩人)ほか
19	【学校プログラム】 人形浄瑠璃「文楽」出前講座	6-7月	裾野市立裾野中、 静岡市立玉川中	200	「人形浄瑠璃 文楽」出演者による講座。出演:文楽座
20	【学校プログラム】 国本武春浪曲出前公演	9-11月	沼津市立愛鷹小、 富士宮市立白糸小、 浜松市立鴨江小	300	名人芸を間近で鑑賞できる機会を提供し、浪曲の魅力を伝える公演。出演:国本武春
21	【学校プログラム】 宝井馬琴監修 講談教室	9-11月	御殿場市立神山小、 袋井市立袋井南中、 浜松市立気賀小	300	日本の伝統話芸の一つである講談の魅力を学び、体験してもらうための講座。講師:宝井琴星、宝井琴柑
22	【中高生鑑賞プラン特別講座】 歌舞伎レクチャー	4-5月	静岡市立井川中、 静岡学園中等部	200	「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞する学校向けに国立劇場職員が歌舞伎の解説・見方等をレクチャー。講師:国立劇場職員
23	伝統芸能普及プログラム	未定	未定	180	能楽の魅力を知ってもらい、伝統芸能への関心を高める。市町公立文化施設での能楽ワークショップ、学校公演、大学出張講座等
地域文化					
24	静岡の魅力第7回フォトコンテスト (入賞作品)	1/18-2/2 (土-日)	10:00-17:00 展示ギャラリー他	4,000	静岡県の魅力を日本全国に発信することと写真文化の振興を目的としたフォトコンテスト入賞作品展
25	静岡の魅力第7回フォトコンテスト (巡回展)	4-8月	館外	3,300	過去の入賞作品等を県内各所の大型商業施設での巡回展
26	静岡ルネッサンス 子どもたちが 伝える昔ばなし	2月	13:00 下田市民文化会館	160	静岡県内の各地域に伝わる昔話を小学生が絵で表現、その絵に台詞や音響を加え、映像化して発表

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要
27 「しずおかの文化」講演会① 球音が消えた夏～戦時下の球児たち～		6月	14:00 910会議室	100	新書13「球音が消えた夏～戦時下の球児たち～」に関連した講演会。講師：仲田均(元静岡第一テレビプロデューサー)
28 「しずおかの文化」講演会② サクラエビ		12月	14:00 910会議室	100	新書14「サクラエビ」に関連した講演会。講師：川口月子(日本民族学会会員)
29 「しずおかの文化」講演会③ 富士山麓の祭り・伝説		2月	14:00 910会議室	100	新書15「富士山麓の祭り・伝説」に関連した講演会。講師：大島善孝(高校教師、日本民族学会会員)
30 「しずおかの文化」講演会④ 井の国・千年王国		3月	14:00 910会議室	100	新書16「井の国・千年王国」に関連した講演会。講師：小和田哲男(静岡大学名誉教授)
31 「しずおかの文化」体感ツアー① 富士山植物の垂直分布		6/7 (金)	終日 青木ヶ原樹海他	40	新書12「植物の富士登山～植物の垂直分布や植生から見える富士山の姿～」に関連したツアー。講師：菅原久夫(富士山自然誌研究会会長)
32 「しずおかの文化」体感ツアー② サクラエビ		12月	終日 由比港他	40	新書14「サクラエビ」に関連したツアー。
33 「しずおかの文化」体感ツアー③ 富士山麓の祭り・伝説		2月	終日 富士吉田市他	40	新書15「富士山麓の祭り・伝説」に関連したツアー。
34 「しずおかの文化」体感ツアー④ 井の国・千年王国		3月	終日 龍潭寺他	40	新書16「井の国・千年王国」に関連したツアー。
賑わい創出					
35 撮影サホ-ター撮影写真展 “グランシップ公演を振り返って”		未定	終日 未定	2,000	撮影サホ-ターが撮影したグランシップ自主企画事業の写真を展示
36 グランシップ懐かしの映画会(2回)		未定	未定 中ホール	900	文化庁および東京国立近代美術館フィルムセンターと連携し、サホ-ター企画として昭和の名作映画の鑑賞機会を提供

3 つながる劇場

○中高生招待対象公演、★中高生鑑賞対象公演、☆学生・子ども(1,000円)設定公演

事業名	中高生招待等	日程	開演時間 会場	入場・参加者	概要
現代舞台芸術					
1 グランシップ 音楽の広場	○★ ☆	8/4 (日)	15:00 大ホール	5,200	本県ゆかりの演奏家300人による大オーケストラ等県民参加型で、家族で気軽に楽しめるクラシックコンサート。指揮：広上淳一、演奏：グランシップ音楽の広場オーケストラ、合唱団 他
2 グランシップ ヒックハンド・ジャズ・フェスティバル		8/18 (日)	13:00 大ホール	1,500	県内アマチュア・ヒックハンドによるジャズ・フェスティバル、前日にはジャズクリニックを開催し、受講生のバンドも出演する
3 グランシップ&静響 ニューイヤ-コンサート(2公演)		1/10 (金)	14:00,19:00 中ホール	1,700	静岡交響楽団による企業協賛コンサート
4 【提携公演】 静岡フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会「北欧への憧れ」		12/8 (日)	14:30 中ホール	800	地元オーケストラ団体による公演、指揮：佐々木新平、ピアノ：森田さとみ、演目：クリク/ピアノ協奏曲、シベリウス/交響詩「フィンランディア」 他
5 【提携公演】 KENKEN DANCE FACTORY 「石の花」THE STONE FLOWER ～革命2013～		12/23 (月・祝)	15:00 大ホール	2,000	地元舞踊団体及びその門下生による舞踊公演、フランス革命の女戦士「ジャンヌ・ダルク」を題材にした創作舞踊公演
6 【提携公演】 佐藤典子同門会 佐藤典子プロデュースによる舞踊 公演～New Wave～		3/2 (日)	17:30 中ホール	800	地元舞踊団体及びその門下生による舞踊公演、企画・監修：佐藤典子

4 文化支援

事業名	日程	参加者等	概要
1 効果的な「情報の活用」	1年中	100	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」の管理運営と「文化情報センター」の設置準備
2 「人」を育てる環境づくり	未定	300	県内の公立文化ホールの職員のための「アートマネージメントセミナー」と、大学生を対象とした「インターンシップ」の実施
3 ささえる「ネットワーク」づくり	3月	100	地域文化活動賞の表彰式と連動した記念フォーラムの実施

2 グランシップ管理運営事業（指定管理事業） 事業費（資金収支ベース）：966,089千円

施設の適正な維持管理及び貸館業務等の円滑な運営を通じて、グランシップ自主事業等の各種文化振興事業の拠点施設を運営するとともに、文化、芸術、学術及び国内外との交流のための施設の貸与事業及びその他の付帯事業を推進する。

一方、施設を有効に活用し、施設の貸与事業により得た収益を公益目的事業の財源に充てるなど、公益目的事業の一層の充実を図る。

また、公立文化施設の連携やグランシップの運営への県民の参加・参画に努める。

(1) 貸館事業 (事業費：5,500千円)

収益性と公共性のバランスを確保しつつ、「親切・丁寧・柔軟・迅速」をモットーに県民ニーズに的確に対応したホール・会議室・駐車場等の貸館事業を実施する。

平成23年度における施設稼働率は81.8%、年間コンベンション開催件数は40件であり、いずれも全国的にみても高い水準を維持している。

本年度は、「文化をささえる」機能をより充実させ、芸術文化活動の場の提供を増やすとともに、国内外との交流ができる大規模催事の誘致を推進する。

ア 貸館業務管理（施設貸出業務）

利用者の視点に立った正確・迅速な貸館業務を行い、常に、お客様への「親切・丁寧・迅速・柔軟」な対応により顧客満足度を向上させ、リピーターの確保や利用促進を図る。

- ・文化、芸術、学術及び国内外の交流の場の提供
- ・各種の活動及び発表の場の提供
- ・駐車場の管理・運営
- ・貸館電算システムの管理

①実施業務

項目	内 容
施設の貸出	受付～施設利用料金収納
貸館情報の提供	HP、G、イベントカレンダー等
催事開催サポートサービス	舞台設営・撤去、机・イスの設営、看板の設置、生花の手配 弁当の斡旋等

②顧客満足度の向上

i) 催事終了後のアンケート実施

【利用者満足度】（良いと回答した比率） (単位：%)

項目/年度	24	25	備 考
目 標	85.0	85.0	
実績（見込）	87.7	88.0	平成25年2月末現在

ii) 利用者会議の開催：平成25年12月（予定）

③顧客サービスの向上

i) インターネット予約（平成24年9月～）の促進

対象：収容人数が100人未満の中小会議室・練習室

【予約率】

(単位：%)

項目/年度	24(9月～)	25	備考
目標	30.0	50.0	
実績（見込）	24.7	50.0	平成25年2月末現在 WEB予約延件数／対象施設延件数 784件／3,168件＝24.7%

ii) サービスメニューの拡充

多彩なニーズに対応するためのサービスメニューの拡充とワンストップサービス導入に向けてのシステムの検討を行う。

項目	内容
弁当斡旋業務 (平成24年12月～)	100個以上の納入に対して売上額の5%を手数料とし、財団が納入業者に対し、請求する
ワンストップサービス	貸館利用者への営業方法、手数料などシステムの検討
貸館催事のPR	HP、館内案内サインシステム等の有効活用

④業務改善の推進

- ・貸館窓口業務の舞台関連業者への移行
- ・貸館利用者が使用する有料・無料備品の更新料金改定及び管理方法の見直し
- ・貸館予約システムの一部改良（申請手続きや備品受付業務の簡素化）

イ 営業活動

県内外への営業訪問活動を行い、文化・芸術・学術催事及びコンベンション等を積極的に誘致し、施設設置目的により近づく施設利用の一層の拡大を図る。

なお、以下の活動を推進するため、申請受付における優先予約制度の導入を検討する。

区分	内容
文化・芸術 ・学術催事	静岡県文化協会に属する団体等への積極的な営業活動 文化・芸術催事の積極的な誘致
コンベンション	コンベンション主催者への訪問 大規模催事等を開催した主催者に対するアフターフォロー (財)静岡観光コンベンション協会との連携 国際ミーティングエキスポ(I ME)への参加(学術催事の誘致)

※全国規模の大会等（平成25年度利用予定）

催 事 名	会 場	開催期日	入場者見込 (人)
第22回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	全館	5月24日・25日	3,500
第26回日本臨床整形外科学会学術集会	全館	7月14日・15日	2,000
第18回NIE全国大会	全館	7月25日・26日	1,000
平成25年度東日本国語問題研究協議会	会議ホール等	8月8日・9日	800
第20回日本排尿機能学会	大・中ホール等	9月18日～21日	1,000
全日本ダンス10選手権大会	大ホール	10月6日	1,500
第22回プレストコンクリートの発展に関するシンポジウム	中ホール等	10月24日・25日	1,000
世界お茶まつり2013	全館	11月7日～10日	100,000
第27回自治体学会静岡大会	中ホール等	11月27日・28日	600

（２）広報・宣伝事業

（事業費：貸館事業 5,500千円に含む）

主催者や催事参加者へのグランシップの施設や利用形態の広報及び自主事業への来場者向けの広報だけではなく、グランシップという施設の広報を行う。

文化振興とコンベンション振興を両立させるグランシップの戦略的な広報活動を展開し、グランシップのブランド化を図り、貸館利用の促進や来場者の増加を目指す。

①戦略的広報の実施

- ・ホームページ、メルマガ、DM配信等を活用し、広報媒体の効率的な運用と自主事業だけでない情報提供に努める。
- ・財団作成広報誌等の再検討（G、ON BOARD、年間イベントカレンダー）

②マスコミとの連携

- ・顔の見える関係の構築

③広聴機能の充実

- ・自主企画事業のアンケート、インフォメーション、電話、ホームページ等を通じて寄せられる意見や要望により、ニーズの把握と分析を行い、各事業の改善に取り入れる方向で、財団内で対応・改善策を協議し、運営に生かす。

④業務内容

項 目	内 容
情報提供	ホームページでの情報発信、内容の改善 ポスターケース（館内外、EV）、館内案内サインシステムの活用 営業用チラシの作成
施設紹介	施設紹介パンフレットの作成 アニュアルレポートの作成（視覚的魅力を増す） グランシップ紹介ビデオの制作（施設・事業）
資料・記録の保存	アニュアルレポート、年報の作成（統計資料の作成） ポスター・チラシ、公演状況収録ビデオ、新聞記事等
その他	オリジナルグッズ・ノベルティグッズの製作、視察対応

(3) 施設の管理・運営

(事業費：739,228千円)

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」の指定管理者として、グランシップの利用者が安全に施設を利用し、人々が憩い集う、賑わいのある快適な空間を提供するため、専門業者に、警備、清掃等の各業務を委託しながら、ユニバーサルデザインに配慮し、適切に館の運営管理を行う。

また、(社)全国公立施設協会等の加盟による公立文化施設との連携や県民参加システム(サポート組織)の運営により、県立施設であるグランシップの役割を果たす。

ア 施設の維持管理

①施設・設備

開館以来満14年が経過し、施設等の老朽化が進んだグランシップではあるが、指定管理者から求められているサービスの向上と経費の削減を進めるため、警備・舞台管理等の委託業者と密接に連携し、業務改善を図る。

- ・省エネに向けた取組み

「省エネ推進委員会」の開催、館内外の減灯

②リスクマネジメント（危機管理）

グランシップが安全・安心・快適な施設であるために、職員だけでなく、委託業者社員を含めたグランシップのスタッフが、自分で考えて、迅速・的確に対応できるような体制を構築する。

- ・実践的な防災訓練の実施
- ・防災マニュアルの改善

③館内外の装飾（グランシップらしい演出）

来館者に、上質でアーティスティックな空間で、快適に過ごしていただくためにグランシップが文化ホールであることを意識して館の内外を演出し、賑わいを創出する。

項目	内容
グランシップ 冬のおくりもの 2013	<ul style="list-style-type: none">・11月下旬～12月下旬までの約1か月間開催・クリスマスツリー等の館内装飾 クリスマスツリー製作：アートコンペ グランシップ賞受賞者・クリスマスツリー点灯式 ロビーコンサート・ミニサンタの絵画展(県内の幼稚園・保育園児の絵画展示)・えほんのひろばで、おはなしかい♪開催
グランシップ アートコンペ (大ホールショーウィンドウの装飾)	来館者に、アートをより身近に感じていただくこと及び静岡を含めた全国のアーティストを支援すること(若手アーティストの育成)を目的に、大ホール ショーウィンドウを展示の場としたアートコンペを実施する。

項目	内容
グランシップを花で飾る！	グランシップを花で飾り、来館者に楽しんでいただくために、プランター内（グランシップ広場・正面エントランス設置）の花の植替をガーデニングボランティアの指導の元、グランシップサポーター及び財団職員、委託業社社員により実施する。

イ 公立文化施設等との連携

（事業費：600千円）

文化施設の全国的協議会などに参加し、他の公立文化施設等と情報の交換、連携を図るとともにネットワークを活用する。

また、県内においては、県立施設であるグランシップが会長館である静岡県公立文化施設協議会のネットワークの充実を図り、県内市町の公立文化施設のレベルアップを図る。

（平成25年2月末現在）

加盟団体名	会員数	備考
(社) 全国公立文化施設協会	1,253	平成24・25年度 全公文副会長・ 関東甲信越静支部長（事務局） 支部委員会開催：3回/年
静岡県公立文化施設協議会	37	会長（事務局） 幹事会・総会：2・4月 自主事業研究会：10月頃 管理・技術研究会：2月
全国展示場連絡協議会	69	
国際会議場施設協議会	32	
関東甲信越静地区文化振興財団等連絡会	12	
劇場・音楽堂等法人組織指定管理者協議会	50	理事

ウ サポート組織運営

（事業費：5,000千円）

グランシップの事業運営に、県民が自主的に参加・参画できる場を提供する。

また、この活動を通して県民の文化意識の向上を図るとともに、県内各地の文化施設で活躍できる人材を育成する。

特に、サポーターの能力を最大限発揮できる場を作るため、平成24年度からサポーター業務の再構築に取り組んでいる。

なお、25年度からは、従前の平常業務を広報業務に名称変更して、公演等の事前情報の発信強化を図る。

（平成25年4月1日見込）

採用区分	業務内容	登録者数
広報業務	ダイレクトメール発送、広報勉強会、ポスター・チラシの館外での掲出・配架、来館者見学案内等	66人
イベント業務	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	79人
撮影業務	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理	17人

採用区分	業 務 内 容	登録者数
託児業務	公演時の託児サービス	5人
文化情報運営業務	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」におけるコンテンツの企画・運営等	24人
計		191人

3 友の会事業

事業費（資金収支ベース）：6,500千円

グランシップ主催事業（自主企画事業）への参加を促し、チケット販売に役立てるとともに、県民の芸術文化に対する関心を高めるため、「グランシップ友の会」の運営を行う。

なお、WEB上で席が選択でき、チケット購入ができるシステムを23年度から導入したことにより、個人会員の減少傾向が顕著になっているため、大規模改修後の平成27年度からの新制度導入に向け、友の会制度の在り方について検討を始める。

種 別	年会費	特 典
個人会員	2,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主企画事業のチケット優先予約（一般発売の1週間前） ・ 指定する自主企画事業のチケット割引販売（10%OFF） ・ 公演情報の無料提供 ・ グランシップ友の会提携店及び提携館での割引サービス他
法人会員	特別 会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報誌・グランシップホームページへの法人名掲載 ・ グランシップ1階エントランスホールに法人名掲出 ・ 自主企画事業への招待（年間 特別会員20席、一般会員6席）
	一般 会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局が指定する事業の招待券を配布 （登録従業員数分、上限 特別会員1,000枚、一般会員500枚） ・ 法人会員の社員等は個人会員に対する特典と同様の特典を付与

4 自動販売機等管理事業

事業費（資金収支ベース）：2,000千円

来館者サービスの向上を図るため、館内に自動販売機・公衆電話等を設置し、適切に管理する。

事業収益については、公益目的事業に活用し、県民へ還元する。

(参考資料) 平成25年度 当初予算 収支資金計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当初予算額 (A)	前年度当初予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①基本財産運用収入	9,967	11,583	△ 1,616	
基本財産利息収入	9,967	11,583	△ 1,616	県債利金等
②事業収入	309,787	317,923	△ 8,136	
貸館事業収入	232,000	232,000	0	
文化情報提供事業収入	1,009	1,004	5	図書販売収入
グランシップ自主事業収入	66,278	72,819	△ 6,541	入場料収入 49,275 協賛金収入 6,630 その他 10,373
自動販売機等管理事業収入	4,000	5,800	△ 1,800	自販機の設置手数料収入等
友の会事業収入	6,500	6,300	200	会費等収入
③補助金等収入	958,612	943,583	15,029	
県費補助金	0	0	0	
県委託金収入	913,512	895,828	17,684	グランシップ指定管理料
その他補助金収入	45,100	47,755	△ 2,655	文化庁補助金等
④雑収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
	0		0	
			0	
事業活動収入計	1,278,366	1,273,089	5,277	
2 事業活動支出				
①事業費支出	1,287,508	1,291,016	△ 3,508	
「しずおかの文化新書」発行事業費支出	8,565	8,565	0	しずおかの文化新書の発行
地域文化活動団体顕彰事業	750	950	△ 200	地域文化活動団体の顕彰
ふじのくに文化芸術振興助成事業支出	6,300	10,300	△ 4,000	ふじのくに文化芸術振興補助金
中高生芸術鑑賞支援事業支出	500	2,000	△ 1,500	中高生芸術鑑賞支援制度
グランシップ自主事業支出	296,804	300,000	△ 3,196	自主企画事業、催事情報提供事業等
管理運営事業支出	966,089	960,901	5,188	グランシップの施設管理、営業広報等
自動販売機等管理事業支出	2,000	2,000	0	自販機の電気料金等
友の会事業支出	6,500	6,300	200	友の会の組織運営
②管理費支出	5,257	8,995	△ 3,738	
法人管理支出	5,257	8,995	△ 3,738	理事会、評議員会の開催等
事業活動支出計	1,292,765	1,300,011	△ 7,246	
事業活動収支差額	△ 14,399	△ 26,922	12,523	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	23,144	33,117	△ 9,973	
退職給付引当資産取崩収入	3,809	3,726	83	任用期間満了職員分
特定事業積立資産取崩収入	19,335	29,391	△ 10,056	指定管理事業積立資産 8,525 自主事業積立資産 10,810
投資活動収入計	23,144	33,117	△ 9,973	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	6,454	6,195	259	
退職給付引当資産取得支出	6,454	6,195	259	
投資活動支出計	6,454	6,195	259	
投資活動収支差額	16,690	26,922	△ 10,232	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
① 借入金収入	0	0	0	
短期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
① 借入金返済支出	0	0	0	
短期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	2,291	0	2,291	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	2,291	0	2,291	

(注) 1 借入金限度額

6,000千円